

資料提供

平成28年12月7日（水）
生活環境部環境政策課長 玉川 明
（担当：課長補佐 坂場 内線 2943）
生活環境部参事兼防災・危機管理課長 高橋 上
（担当：課長補佐 穂積 内線 2881）
農林水産部畜産課長 永田 裕
（担当：課長補佐 川上 内線 3980）

水戸市大塚池で回収された死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について

平成28年11月29日に水戸市の大塚池において回収されたオオハクチョウ1羽について、環境省による確定検査を鳥取大学で実施したところ、本日、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されましたのでお知らせします。

1 経緯

- ・ オオハクチョウ1羽の死体を回収。（11月29日）茨城県が簡易検査を実施したところ、陰性と判明。
- ・ 12月2日に茨城県県北家畜保健衛生所で遺伝子検査を実施したところ、H5亜型の鳥インフルエンザウイルスと判明。
- ・ 同日、環境省が発生地周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・ 環境省の指定により、12月3日に鳥取大学に検査試料を送付。

2 今後の対応

現在の対応を引き続き継続する。

<参考>関連情報

- 環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)